

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	17	担当部課名称	文化生涯学習部文化生涯学習課
事務事業名	市民文化祭事業		
見直しのタイトル	市民文化祭の事業実施体制の見直し		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・市民文化祭は、茅ヶ崎市文化団体協議会に所属する23部会が、それぞれの活動の成果を発表する場であると同時に多くの市民が芸術文化に触れる機会を作る場であり、市民文化芸術活動を発信し、更に多くの仲間を募り活動を充実させていくことを目的としており、毎年10月・11月に主に市民文化会館にて実施している。
- ・市が文化団体協議会に委託料を支払っているが、施設の諸室の確保や各部会の日程調整、附属設備の手配などの事務を市が行っている。
- ・市民文化祭は、文化会館を主会場として開催しているため、市と文化団体協議会と指定管理者との調整事項が多く、伝達体制が煩雑である。そのため、より効果的・効率的な運営体制について課題がある。
- ・現在の市民文化祭は、高齢化が進み、より開かれた文化祭にするためにもより魅力的な事業企画のノウハウが求められている。

他市の事例

- ・横須賀市・・・市と財団、文化団体の主催。財団内に文化祭担当あり
- ・八王子市・・・市民文化祭実行委員会と市と財団の共催で開催

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】これまで市が行っていた業務について、諸室や附属設備の確保・とりまとめや事業企画等、指定管理者が行った方が効果的、効率的と思われる部分については積極的に指定管理者が担えるよう業務分担の見直しを検討する。

【具体的内容】

- ・茅ヶ崎市文化団体協議会、茅ヶ崎市、指定管理者の役割を整理し明確化させることで、よりきめ細かなサービスを行う。
- ・市は広報による支援を行う。
- ・市が支出している委託料、施設使用料と指定管理料の精査を行う。

## 3 改善により期待できる効果

【全体】

- ・直接及び間接事業費の削減

【市】

- ・文化祭運営の調整にかかる事務の軽減
- ・指定管理者の企画による市民文化祭の価値の向上

【指定管理者（茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団）】

- ・財団の設置趣旨（市民の自主的で創造的な文化芸術活動及びスポーツ活動を支援・促進し、豊かな地域文化の形成と発展に寄与する）と合致した事業展開が期待でき、より市民との連携が強まることで職員の資質が向上し、組織の価値が高まる。

【文化団体】

- ・指定管理者による柔軟できめ細かなサービスをうけることができる。

## 4 実施スケジュール（概要）

平成30年度

- ・ 指定管理者及び文化団体協議会との協議  
（役割分担の整理、市民文化祭のこれからのあり方について）

平成31年度

- ・ 事業実施体制見直しに向けた平成32年度予算の調整

平成32年度

- ・ 事業体制見直しによる事業実施

## 5 実施結果の振り返り

平成32年度に市民文化会館の指定管理業務の一環として実施する体制への移行という考え方について、指定管理者及び文化団体協議会と協議をスタートし、課題等を話し合った。指定管理者の人員体制の整備や、開催時期や規模など持続可能な市民文化祭のあり方の再構築など、クリアしなければならない課題は多く、期待される効果を実現できるかを総合的に鑑みた手法について協議を継続していく。